

## 浸水被害の後始末としての光触媒のご提案

異常気象の深刻化に伴い近年、水害も増加傾向にあります。とくに気温の高い夏場に多いことから水害後の食中毒や伝染病予防対策が焦眉の急であることに変わりませんが、現状では役所から漂白剤が配給されて、それで応急的な殺菌処理を行うことが一般的です。これには下記の3点の大きな欠陥があり、より効率的な対策が求められています。



1. 次亜塩素酸系漂白剤は揮発性があるので殺菌効果は一過性で長持ちしない。
2. 殺菌効果はあるが消臭機能はない。
3. 不快な次亜塩素酸系の臭いがけっこう長期間残る。

当社では一昨年よりこれを抜本的に解決するために予備活性化した光触媒を応用した新タイプの液剤 **NFE2 (散布用)** を開発してご紹介してきました。成分とその効用につきかんたんにご説明しますと

有効成分	化学種	具体的な効果
予備活性化光触媒	TiO <sub>2</sub> /H <sub>2</sub> O <sub>2</sub> 	即効的消臭、殺菌効果が得られる。光触媒がすでに活性酸素を含んでいるので光照射がなくても十分な消臭効果と即効的な殺菌効果がある。無臭である。
銅イオン	Cu <sup>2+</sup> 	銅イオンが存在し続ける限り続く長期的殺菌、抗ウイルス効果が期待できる。木質やコンクリート内部まで浸透するので殺菌効果も大きく、シロアリ抑止にもなる。無臭である。

樹脂成分をほとんど含んでおりませんので成分は吸湿性の建材内部まで染みこんでそこに長期間止まりますから漂白剤での殺菌の問題点をすべて解決できています。

効果は「腐敗臭が消える」や「カビが生えなくなる」という具体的かつ身近な現象でご確認いただけます。



# Chemical Technology

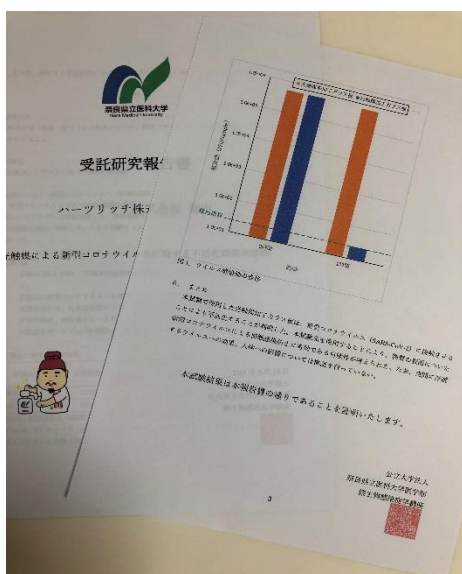
施工はごくかんたんで「単に撒く」という程度でも十分ですが有効に液剤を散布するには農薬散布スプレー等の活用をお奨めします。ただ、光触媒は沈降しやすいのでときどき液剤を攪拌しながら散布してください。

## NFE2(散布用)施工仕様

工程	材料	方法	塗布量	養生時間
清掃	高圧水洗等	泥汚れ等を除去		指触乾燥まで
塗布	NFE2 (散布用)	ジョウロや農薬散布スプレー等で散布する	40 g / m <sup>2</sup> 目安	指触乾燥まで

2020年の熊本・人吉水害でも浸水後の木造住宅の復旧作業で広くご採用いただきました。

かんたんな施工で迅速かつ長期的な衛生管理に大きく貢献できたことを光栄に感じております。



またこの度、当社のお得意様が NFE2 (散布用) とほぼ同じ薬効成分の液剤で新型コロナウイルスに対する非常に高い有効性のエビデンスを取得されました。ウイルス全般に対する不活性化効果も大いに期待できると確信しております。

お問い合わせは株式会社ケミカルテクノロジー代理店の